

製品名: SRp40 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18277

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SRSF5
別名	SRSF5; HRS; SFRS5; SRP40; Serine/arginine-rich splicing factor 5; Delayed-early protein HRS; Pre-mRNA-splicing factor SRP40; Splicing factor; arginine/serine-rich 5
遺伝子 ID	6430.0
SwissProt ID	Q13243
免疫原	抗血清はヒト SFRS5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

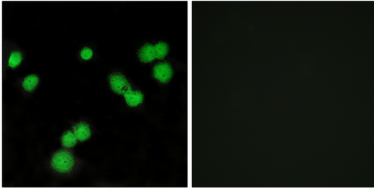
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン / アルギニン (SR) に富む pre-mRNA スプライシング因子ファミリーの一員

であり、スプライソソームの一部を構成し、RNA 認識モチーフ (RRM) と他のタンパク質との結合に用いられる RS ドメインを有しています。RS ドメインはセリンおよびアルギニン残基を豊富に含み、異なる SR スプライシング因子間の相互作用を促進します。SR タンパク質は mRNA スプライシングに重要であるだけでなく、核からの mRNA の搬出や翻訳にも関与することが示されています。選択的スプライシングによって、多様な転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2016年2月]機能:構成的スプライシングにおいて役割を果たし、選択的スプライス部位の選択を調節することができる。、PTM:RS ドメインのセリン残基が広範囲にリン酸化されている。、類似性:スプライシング因子 SR ファミリーに属する。、類似性:2つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。、サブユニット:SFRS4、SFRS5、SNRNAP70、SNRPA1、SRRM1、SRRM2 とともに pre-mRNA スプライシング複合体に存在。、

研究分野

スプライソソーム;

画像データ



SFRS5 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。